

令和 6 年度

第 2 回 那須町総合教育会議 会議録

那須町教育委員会

令和 6 年度 第 2 回那須町総合教育会議録

令和 6 年 11 月 5 日 15 時 30 分から、令和 6 年度第 2 回那須町総合教育会議が開催され、その結果は次のとおりであります。

1 本会議の出席者は次のとおりであります。

町長部局

副町長	平山 浩之	(町長代理)
総務課長	池沢 秀勝	
企画政策課長	鬼澤 努	

教育委員会

教育長	平久井好一	
教育委員	菊地 厚子	
教育委員	大森源一郎	
教育委員	菊地 昭一	
教育委員	金田裕美子	
学校教育課長	島村 育男	
生涯学習課長補佐	相馬さおり	(課長代理)
こども未来課長	渡邊 誠	
黒田原第 2 保育園長	荒井 敦子	
伊王野保育園長	佐藤恵美子	
学校教育課長補佐	赤羽根初美	
こども未来課保育係長	荒川 泰幸	

1 本会議の議事は次のとおりであります。

協議事項

- (1) 那須町の保育の現状と課題について
- (2) その他

1 開 会

島村学校教育課長

定刻となりましたので、ただ今より令和6年度第2回那須町総合教育会議を開催いたします。会議の終了時刻は17時といたしますので、ご協力をお願いいたします。

本日は、平山町長が所用により出席することができませんので、平山副町長にご出席をいただいておりますことをお知らせいたします。

それでは、はじめに、平山副町長よりご挨拶をお願いいたします。

2 あいさつ（平山副町長）

皆さま、こんにちは。副町長の平山でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

本日は、那須町総合教育会議に初めて出席させていただきますので、本当に楽しみにしてきました。

教育委員の皆様には日頃から、本町の教育行政の推進にご尽力を賜り感謝を申し上げます。

また、本日は令和6年度第2回那須町総合教育会議を開催したところ、ご多用にもかかわらず、ご出席をいただき誠にありがとうございます。

過日、11月3日に町制施行70周年の節目を迎えました。ご存知のとおり、那須町は、昭和29年11月3日に芦野町、伊王野村、那須村が合併し那須町が誕生しました。

那須町では、例年、この日に那須町の発展に永年にわたり貢献された個人や団体の方々の功績を称え、自治功労者表彰式を開催しており、今年度は12名の方へ授与させていただきました。

今日の那須町が発展、繁栄してきたのは、先人たちのたゆまぬ努力の賜物であり、心から敬意を表し、次世代へつなげる新たなスタートとして、那須町の魅力を町内外に発信してまいります。そして、豊かな自然と歴史、文化の薫る那須町が未来に向かって飛躍、発展するためには、町民の郷土愛を醸成させ、町民全体が心をひとつにし、誇れる那須町として継承するため、私自身も身が引き締まる想いで町政に取り組んでまいります。

本日は、那須町の保育の現状と課題について忌憚のない意見交換を行いながら、町長部局と教育委員会が共通の認識をもって、那須町の教育をより良い方向に進めて行ければと思っておりますので、どうぞ、よろしくお願い申し上げます。

島村学校教育課長

それでは、協議事項に移らせていただきます。

那須町総合教育会議設置要綱第4条第1項により町長が議長となりますが、本日は町長が欠席となっておりますので、副町長が進めさせていただきます。

平山副町長、よろしくお願い申し上げます。

3 会議録の承認

議長：平山副町長

それでは、本会議を主宰する立場から議長を務めさせていただきます。
円滑な議事運営に努めたいと思いますので、ご協力をお願いいたします。
はじめに、会議録の承認について学校教育課長より説明をお願いします。

島村学校教育課長

総合教育会議の会議録は、那須町総合教育会議設置要綱第7条において、公表することになっております。

那須町総合教育会議臨時会の会議録について説明させていただき、公表について承認をいただきたくお願いいたします。

会議録に沿って説明

議長：平山副町長

ありがとうございました。

ここで、5分程度、お時間を取りますので、会議録の内容についてご確認をお願いします。

～内容確認～

それでは、会議録について、ご意見やご質問などがございましたら、お願いいたします。

全出席者

ありません。

議長：平山副町長

ご確認をいただきまして、ありがとうございました。

それでは、会議録について承認をいただけますか。

全出席者

承認する。

議長：平山副町長

ありがとうございました。

4 協議事項

それでは、(1)那須町の保育の現状と課題について、意見交換をさせていただきます。
まず始めに、こども未来課長より那須町の保育の現状と課題について説明をお願いします。
こども未来課長の説明後に、皆さまからのご意見を頂戴したいと思います。

それでは、渡邊こども未来課長、どうぞよろしくお願いします。

～こども未来課長説明～

議長：平山副町長

ありがとうございました。

保育園から園長先生が出席しておりますので、現場の声をお伺いしたいと思います。

まずは黒田原第2保育園荒井園長、お願いいたします。

荒井黒田原第2保育園長

第2保育園は令和9年度に第1保育園と統合するということで、次年度から未満児の入園はなく、幼児と今在園している1.2歳児の子どものみになります。今後は、在園人数が減ることから、保育をどのように取り組んでいくかについて、来年度に向けて検討しているところです。

議長：平山副町長

はい、ありがとうございます。次に、伊王野保育園佐藤園長、お願いいたします。

佐藤伊王野保育園長

伊王野保育園ですが、産休に入った職員が1名9月の後半からおりますが、その職員の代替がありません。年明けに1か月だけ育児休暇を取りたいと希望を出している職員もおりますが、その代替についても厳しい状況です。

保育の配置基準が見直されていまして、特に未満児ですが改訂前は有資格者と無資格者で担任しておりましたが、それでは基準に合わないということで、副園長が毎日保育に入っております。

主任保育士に関しましても担任は持っておりませんが、夏季休暇や体調不良等で休みの職員がいるクラスに、ほぼ毎日保育に入っており、夕方園児たちを一部屋に集めて保育をするのですが、その後に自分たちの仕事をする形になっております。

会計年度任用職員も募集をしておりますが見つからない状況です。

議長：平山副町長

ありがとうございます。それでは、皆さんからご意見、ご感想などがございましたら、お願いいたします。

菊地(厚)委員

この有効求人倍率が栃木県だけ高い理由はどこにあるのかなと考えながら、お聞きしていたのですが、保育士がいないということですね。保育士を目指す人もいないのですか。

佐藤黒田原第2保育園長

作新学院など学校は成り立っているので、目指す方はいると思いますが、就職につながらない状況です。なぜなのか、私も理解に悩むところです。

菊地(厚)委員

勤務条件が悪くて、保育の道を目指しても仕事をするのが厳しいということなのですか。

それなら、待遇を改善するとか、賃金をアップするとか、改善する方法はあると思うのですが、他の県に比べて倍近く、そういう状況が出ているのは理解しがたいというか、分からないですね。

議長：平山副町長

他に比べて有効求人倍率が高いというのは何か分析結果などありますか。

渡邊こども未来課長

保育関係の担当者会議では、有効求人倍率については高いという説明はありましたが、この分析までは至ってなかったようです。県におきましても、研修や就業の機会を作るために、いろいろな政策はとっているという説明はありましたが、各市町関係で隔々まで行き渡ってはいない状態のようです。今回、那須町でも研修の機会など雇用に繋がるものを、県の方へ要望したいと思っております。

金田委員

これから日本全体が人口減少する中で、首都圏を中心にファミリー層が家賃が高いことから地方に流れる傾向があると思います。その中で、都市田舎というキーワードが出ていて、魅力度ランキングとは別ですが、栃木県は第3位に浮上してきております。都心に近いけれども自然も多く、教育費が断然安いということで注目されています。宇都宮はそういう方たちに選ばれていますが、那須町は選ばれていない。学校が選ばれる時代にきていると思います。働き手の方々もそういう目でリクルートしていると思います。ですので那須町もSNSで魅力を発信したり、受け身で求人を待つのではなく積極的に取りに行くことを、町全体でしていかないと選ばれないで終わるのではという懸念があると思います。

今、議論にある那須町の教育のあり方にも通じるものがあると思うのですが、早急に那須町として教育ビジョンを掲げて、幼、保、小、中の一貫教育を前面に押し出して、わかりやすく若者に届けるということが求められていると感じております。

大森委員

課題が3つありますが、園長先生としては、とにかく保育士が足りないということが現状としてはかなり切羽詰まって大きいということですか。

佐藤伊王野保育園長

伊王野保育園に関してはかなり厳しい状況で、私も保育にあたっております。

大森委員

町としては追加募集をどんどんしている状況なんですね。

渡邊こども未来課長

会計年度任用職員につきましては、常時募集をしている状態であります。

しかし、金田委員さんが言われた通り受け身の募集になってしまっているのも、当然 PR も必要かと思っております。

大森委員

町広報などになりますね。

池沢総務課長

本日、町のホームページで職員採用の追加募集を掲載しました。

有資格者、専門職の方が採用試験に応募していただけない一番の理由は、公務員は給料が低いという点があげられます。公務員給与は国の基準で決められるので、勝手に那須町だけ上げられないというのがあります。

厚労省のホームページをみましたら、給料が低い、責任が重い、業務量が多い、保護者との関係が厳しいなどが挙げられており、保育資格を持っている人の約半分が職についていないようです。保育資格を持っている方はまだまだいるようですが、選ばないというのが厚労省の発表です。

大森委員

どうしたら良いのか、まずは給料を上げないとね。

金田委員

給料を上げる、そこでしょう。最低時給を上げる中でいつまでたっても給料が低く、責任が重い、お子さんをお預かりするというのは誰もやりたくないですね。

穴が空いているところに対処療法として、子育てがひと段落しているお母さん方をお願いするというのでしょうか。なすのそら保育園を視察した時に、保育士さんが本当に足りてなくて、一人の保育士さんに 5.6 人の子どもたちが集まってくるのをみて、抱っこ隊があるとずいぶん変わるのではないかと感じました。有資格者でなくても、子どもを抱っこする人があるということは、有資格者の方々は少し考える余裕が生まれるのかなと思いました。おばあちゃん抱っこ隊と子育てを終わったママたちの確保を、お小遣い程度の枠でお願いす

るということをしながら、SNS,インスタ、X、YouTube を使って若者に届けるということをするのはどうだろうかと考えます。

大森委員

それは良いですね。先生も何か付加価値をつけてあげないと那須町に行くなんて思わないでしょうね。例えば町営住宅を安く提供するとかね。

金田委員

国の仕組みで給料を上げられないのであれば、完全週休二日制は確保するとか、無料で住まわせるとか、付加価値をつける。待っていたんでは来ないです。

大森委員

那須町には人が住んでいない民家もたくさんありますから、そういうところを紹介するなど、他から来てくれるような策を考える必要があると思います。

菊地(昭)委員

先生も同じですが、保育士さんも印象悪くなってますよね。

介護職も汚い、休みがとれない、給料が安いなど、そういう職には人が集まらないですね。

正義感を持って役に立ちたいと考える人を確保するためには、大森委員がおっしゃるように付加価値が必要だと思います。給料が決まっているのなら、何十年、仕事を続けてくれるなら土地、家をあげます位の勢いで、若者に欲を出してもらおう工夫も必要だと思います。

残業が多く、休みが無い、給料が安いでは評判が悪くなって、なり手が集まらないです。

今は、後手後手になっているので、先手必勝で何か考えましょう。

菊地(厚)委員

過去に民生委員として、保育園を視察した時の様子ですと保育士さんの数が少なくて激務なんですね。正職員しかできない業務も多くあり、正義感があって、子どもが大好きで、この仕事が好きだけど、体が持たなくてこれ以上続けられないという悲鳴のような声がありました。たくさんの人数で補えば、一人の任務は軽くなるわけだから、ものすごい悪循環が起きていると感じました。これといって改善策がないまま那須町が来てしまったような気がします。

人数確保ということさえできれば、保育への仕事の魅力というのは、自分の求めている仕事の範囲でできるということもあると思って、職員さんたちの辛さを感じて、言葉に出しても、これといって改善策がないというのを繰り返してきてしまったような気がします。

みんなで知恵を絞って、一人の仕事の負担を軽減するということを目指していかないと、那須町で保育の業務に当たってくれる保育士さんは、いつまでも集まらないのではないかと

思います。

平久井教育長

教育委員会に幼児教育所管課が含まれたことで、教育委員さんにも現場をみていただいて、私は教育長という立場で、保育園の園長先生方と話したりしていますが、現場をみて大変だという話もありましたが、その大変さの度合いというのが理解されていないなと感じました。園長先生が子どもをおんぶしながら、私たちの対応をしたり、これは現場ではある意味仕方ないですが、それが現状です。食事の時間も保育士さんたちは、自分も食べながら子どもたちに食べさせている。休む時間はまったくないです。午睡の時間も保護者への連絡帳の記入などで本当に時間がないのが現状です。子どもが大好きだという思いが実現するような場所にするために、条件をきちんと確保していく必要があると思います。

いつも言っておりますが、保育は安全に子どもを預かるだけでいいのではなく、今は3歳から5歳頃の年齢が重要視されておりますので、見方を変えていく必要があると思います。

菊地(昭)委員

保育士の支援は無資格でもできるのですか。

佐藤園長

国で決められた基準がありまして、年中、年長児25人、3歳児15人、1.2歳児6人に対して有資格者の保育士1人となっており、1歳児が12人いれば、有資格の保育士が2名、そこに保育補助として無資格の方がいる分には大丈夫なのですが、有資格者が1人では基準が満たされていないということになります。

金田委員

那須町には那須高校があり、生徒たちの進路をみると一定数保育士の志望があります。那須高校のデメリットは家庭困窮世帯が多いということです。シンプルに分かりやすく例えば那須町で保育士になるという確約をとり、そういう子については町が給付金を出して卒業まで保証しますから、就職は那須町の保育現場でお願いしますというようなことなら、結構集まるのではないかと思います。

鬼澤企画政策課長

町では、いつでも学校に伺って、奨学金について説明する機会がありますと伝えております。職業体験で保育園に那須高校生は来ているのですか。

荒井園長

今年、男子高校生が来てくれました。とても良い子で、ぜひ那須町にとアピールしました。

金田委員

那須高校の須藤先生に現状を伝えて、保育士さんになりたい子に職業体験というようなことで来ていただくとか、送迎がないのがデメリットなので、教育の一環として送迎してもらえば、結構いると思います。那須高校生の良いところは純粋なんですよ。悪い方向に行かないというか、そこは良いところかなと思います。

鬼澤企画政策課長

保育園で職業体験を受け入れることは良いことだと思います。

金田委員

2年生になると、一定期間、職業体験があるので、那須町で保育士さんになりたい子は、就職がある程度決まってくると思いますので、1年生から保育園と交流を持っていただいて、最終的な高3の進路選択の時に、那須町で働くことが絶対条件の給付型の奨学金があれば良いのではないかと思います。

大森委員

奨学金制度を新設することは可能ですか。

島村学校教育課長

新設することは可能です。現時点でも給付型30万円の奨学金制度があり、那須町在住者に限定しております。

金田委員

現在保育の現場では欠員も出てしまっており、その分子どもたちをみれないわけで、現場のメンタルヘルスも心配になるので、待ったなしの状況であると思います。町に住む人がいなければ税収も上がらないし、消滅してしまいます。ワクワクできるような那須町にできれば良いですね。

佐藤伊王野保育園長

実習生も減少しており、最近は数年に1人となってしまっております。今、短期大学が大学へという過渡期なのかなと思います。今まで2年のサイクルだったのが4年になってしまおうと生徒さんも少なくなって厳しいところです。

大森委員

調理員が2名だが、他はどうしてるのですか。

佐藤伊王野保育園長

民間委託しています。とても温かくて美味しいです。

議長：平山副町長

先ほどの給付型奨学金は、保育士資格学校でも可能ですか。

島村学校教育課長

可能です。

菊地(厚)委員

子育て世代を自分たちの町に誘致しようと、自治体間の競争が激しくなっておりますが、那須町の一番ピンチなのは保育士さんです。子育て世代に向けてアピールするのと同じように、保育士さんに向けたアピールを行うべきだと思います。那須町独自の枠が作れるのであれば、作って募集する必要があると思います。皆さんが危機感を持ったうえで、新しい施策を作っていくということが必要だと思います。

大森委員

給料は全国を基準にして、町が決めているのですか。

池沢総務課長

人事院勧告により給与体系を作るのですが、地方と都市部では、地域手当加算で差異があります。基本は国で定める給与法に基づいて実施する必要があります。それに違反すると国からの指導が入ります。

議長：平山副町長

基本給料は全国一律です。物価が高い都市部は地域手当加算で高くなりますが、地方はそれがありません。

平久井教育長

先生は教員特別手当が4%加算されますが、時間外がつかないので、実際の現場を知る必要があると思います。

金田委員

なんとか工夫して、オプションで付加価値をつける必要があると思います。

池沢総務課長

毎年、平均年齢、平均給与を報告するため、給料は難しいところです。

鬼澤企画政策課長

給料以外の部分で、現状の制度と調整が必要だと思います。また、新採の方と現職との調整も必要になると思います。

大森委員

保育園は遅番と早番があると思いますが、給料は同じなのですか。

佐藤伊王野保育園長

時間外手当が支給となります。基本的には 8 時 30 分から 17 時 15 分までの勤務になります。保育園の開園が 7 時 30 分から 19 時までとなりますので、8 時 30 分前の 1 時間と 17 時 15 分以降の時間については時間外をいただいております。

大森委員

そうなんですね。分かりました。

菊地(昭)委員

昼食時間が通常通り行えることが必要とは、どういうことですか。

渡邊こども未来課長

子どもさんをみていなくてはいけないので、休息時間はなく、仕事をしながら食事をしていくという状態です。

平久井教育長

時間外対応はできても、昼食の時間や休息が取れないことの課題があるのが、那須町の現状です。

佐藤伊王野保育園長

休憩時間はなく、休む部屋もない状態です。他の市町村では、ノンコンタクトタイムの部屋があり、その部屋に行くときは仕事を持って行かずに自由に過ごすことができ、子どもから離れる時間がありますが、那須町は厳しい状況です。

ホールに集めてお昼寝をさせるのですが、0 歳児は 5 分に 1 回、1.2 歳児は 10 分に 1 回と定期的な午睡チェックが必要になります。

平久井教育長

課題の(2)土曜日対応の保育士については、通常開園日とは違い 2～3 名の保育士で保育を行うため体力的・精神的に疲弊するため、振替日については翌週月曜日などの取得の検討が必要とあります。この件については保育士の方たちから出てきた悩みだだと思います。土曜日働いたのだから日月と休みたいという気持ちは理解できます。

これは出来ないのですか。

渡邊こども未来課長

人数がギリギリなので、代休を取る余裕がないということです。

佐藤伊王野保育園長

出勤した週の月曜日にお休みをいただければ、日月と2日間とれるのですが、基本的には週休は同一週の平日に取得するよう決められているので、出来ないということです。

鬼澤企画政策課長

同一週は基本ですが、前4週後ろ8週の中で取得してくださいということなのですが、毎週毎週あるので取れないということですか。

佐藤伊王野保育園長

いいえ、一年間計画は立てております。

私が現役の時には、連休を取らせていただいておりますが、ここ数年は担当の方から、同一週の平日に取って欲しいと言われておりました。

土曜日は11時間勤務で、少人数で早番から遅番まで従事して、日曜日1日だけの休みで月曜日出勤は、神経も体も使いますし正直辛いです。前4週後ろ8週で大丈夫であれば、4月の時点で計画は立てるので、翌週の月曜日にお休みをいただくことは可能ですか。

議長：平山副町長

その辺は、総務課とこども未来課で調整していただきたいと思います。

それでは、時間も限られておりますので、以上で意見交換を終了とさせていただきます。

貴重なご意見をいただきまして、ありがとうございました。

いただきましたご意見については、今後の那須町のより良い保育に向けて参考とさせていただきます。

それでは、次の協議とさせていただきます。

議長：平山副町長

次に(2)その他について、各課より何かありましたら、説明をお願いします。

(学校教育課長・生涯学習課長・こども未来課長)

ありません。

議長：平山副町長

無いようですので、以上で、議題に関する協議は終了いたします。

貴重なお時間をいただき、充実した会議となりましたことに、お礼を申し上げます。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

それでは議長の任を解かせていただきます。

5 その他

島村学校教育課長

それでは、その他に移りますが、皆様から何かございますか。

全出席者

ありません。

島村学校教育課長

無ければ、これをもって協議事項はすべて終了させていただきます。

6 閉会

島村学校教育課長

閉会にあたり、教育委員を代表して平久井教育長よりご挨拶をいただきます。

平久井教育長

本日はお忙しい中、平山副町長には突然の議長、申し訳ありませんでした。

お二人の園長先生には、言いづらい話をしていただきまして、ありがとうございました。

以前、こども未来課の会議に出席したときに、保育園、幼稚園の保護者からのアンケートを見せていただいて、那須町は子育てしやすいまちづくり、子育て支援に力を入れるということをしておりますが、なかなか保護者が希望するようなところまで至っていないなと感じておりました。それを実現するにはどうしたら良いかという、保育士の待遇等、希望を持って働けるようにする必要があると思います。

今年度は、教育委員さんに保育園や幼稚園の現場を見ていただくということを考えております。少しでも保育士の皆さんがやりがいを感じて、保育士で良かったと思えるような現場を目指せば、那須町の一貫教育の中のスタートの段階の保育教育の充実が望めるのかなと思っております。保育園、幼稚園の時期の保育教育の中身というのは、ものすごく大切なものだろうと思っております。

本日は貴重なご意見をいただきまして、ありがとうございました。

島村学校教育課長

以上で令和6年度第2回那須町総合教育会議を閉会といたします。

本日はありがとうございました。

